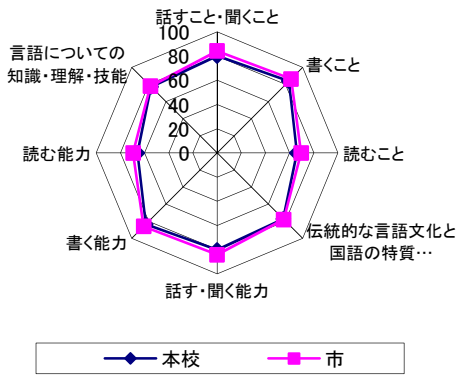


宇都宮市立旭中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	80.2	84.3	81.2
	書くこと	84.0	86.4	74.0
	読むこと	66.0	69.5	64.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.3	77.9	70.6
観点別	話す・聞く能力	80.2	84.3	81.2
	書く能力	83.5	86.0	74.2
	読む能力	66.0	69.5	64.8
	言語についての知識・理解・技能	77.3	78.1	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(国語では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

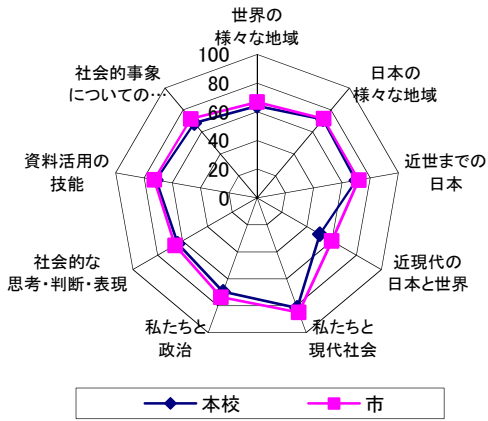
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話の内容を正確に聞き取ることの正答率が高い。 ○聞き手に理解してもらうための話し方の工夫についても、正答率が高い。 ○話し合いの流れを的確にとらえて、司会者として適切な発言をすることについては、ほぼできている。 ●司会者の工夫について聞き取るころでは、市と比べて7ポイント下回る。	・時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、他の意見や考えを聞いて自分の表現の参考にしたり出来る様に指導の充実を図る。 ・話し合いが、効果的に展開するように進行の仕方を工夫したり、課題の解決に向けて互いの考えを生かしたり出来る様な活動(授業)を積極的に取り入れる。
書くこと	○「電子辞書がよいか」「紙の辞書がよいか」自分の立場を明確に書くことについては、正答率が高い。 ●原稿用紙に正しく三段構成で書くことや、段落頭一文字下げについては、市と比べて8ポイント下回る。 ●自分の体験をふまえて「理由」を書いたり、文章の内容に沿ったまとめを書いたりすることが市よりも劣っている。	・本年度は、書くことの力をつけるために、授業の中で作文や小論文の時間を取って指導をしたが、構成や原稿用紙の使い方などの基礎的なことは、徹底することができなかった。日常のノートや意見文を書くときにも、細かくチェックして身に着けさせたい。
読むこと	○文章の展開に即して内容をとらえることは、他の領域より高い。 ○登場人物の心情や様子を捉えることができる。 ●文章の展開を捉えてその内容を整理してまとめることについては、国語の授業の中で力を入れてきたが、正答率が悪く市よりも下回った。 ●文学作品の内容を読み取り、表現の特徴を捉えることについては、市よりも4ポイント下回った。	・文脈の中における語句の効果的な使い方や、表現上の工夫に注意して読むなどして、読むことの能力をさらに育成していく。 ・論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読んだり、批評したりして自分の考えを深めさせる。 ・読書生活を振り返り、本の選び方や読み方についても指導をしていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○三学年までに学習した漢字については、九割以上が読むことができています。 ○文法・語句に関する知識の助動詞については、市と比べて4ポイント高い。 ●故事成語や類義語・対義語についての理解については、市よりも下回る。	・慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしていきたい。 ・歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しみを持てるように指導をしていき、古文に対する苦手意識をなくしていきたい。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	世界の様々な地域	64.1	66.8	54.1
	日本の様々な地域	71.5	72.1	63.4
	近世までの日本	70.1	72.0	62.0
	近現代の日本と世界	50.5	60.0	55.2
	私たちと現代社会	81.6	85.0	73.0
	私たちと政治	69.6	73.7	71.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	63.9	66.1	52.0
	資料活用 of 技能	71.6	72.8	63.0
	社会的な事象についての知識・理解	68.1	72.0	64.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

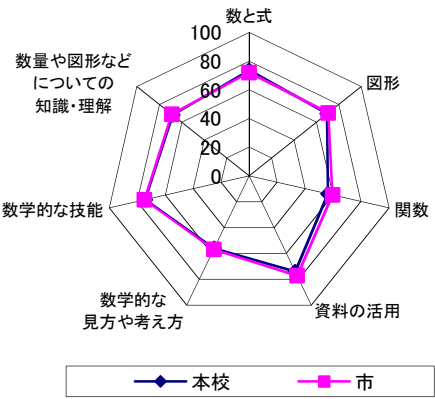
領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	○イギリスの貿易相手国の変化についてのグラフの読み取りの正答率が、市の平均を上回った。 ●アジア州の人口や資源について図から考える問題の正答率が低かった。	・日本地理に比べ、世界地理の正答率が低い傾向があるので、教科書の内容にとどまらず、広く興味・関心を喚起するような課題の与え方を工夫していく。
	日本の様々な地域	○中央高地の農業に関するグラフの読み取りの正答率が、市の平均を上回った。 ●北陸地方の地場産業についての理解が不十分であった。	・資料の読み取りに比べ、そこから思考判断していく力が弱いので、授業において言語活動の充実を図っていく。
歴史	近世までの日本	○縄文時代や江戸時代などの知識はおおむね身についている。 ●奈良時代や平安時代の理解については不十分な点が見られた。	・それぞれの時代への興味・関心の度合いによって、知識理解に偏りがあるので、年表を活用し大観的に歴史をながめる力を養っていきたい。
	近現代の日本と世界	●全体的に正答率が低い。	・世界の動きと日本を関連づけながら、近現代をとらえる演習をさらに充実させる。
公民	私たちと現代社会	●対立・合意・効率・公正についての考え方が、市の正答率を下回った。	・抽象的な概念としてとらえるのではなく、身近な話題を取り入れながら、「なるほど」と実感できる演習を工夫していく。
	私たちと政治	○国会の果たす役割等についてはおおむね理解している。 ●地方自治に関する正答率が低い。	・新聞記事や市の広報誌などを活用し、時事問題等への興味・関心を高めていく必要がある。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	73.6	72.1	70.7
	図形	69.6	70.5	58.1
	関数	56.4	59.6	52.1
	資料の活用	74.1	77.2	64.1
観点別	数学的な見方や考え方	56.1	56.9	47.7
	数学的な技能	74.3	74.9	69.2
	数量や図形などについての知識・理解	68.1	68.9	59.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（数学では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

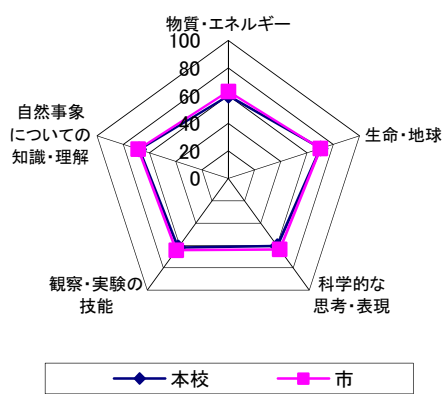
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○宇都宮市と比較し、1. 5ポイント上回っている。 ○式の展開や因数分解、平方根の計算の正答率が高い。 ●方程式を解く問題の正答率はやや低い。	・毎時間の計算ドリルの取組を今後も継続して、計算力のアップを図りたい。 ・連立方程式と2次方程式を解く問題を苦手とする生徒が多い。方程式の解き方の手順を丁寧に説明し、理解させてから反復練習を行いたい。そして、苦手意識を払拭したい。
図形	●宇都宮市と比較し、0. 9ポイント下回っている。 ○相似な図形の問題は正答率が高い。 ●作図(垂直二等分線)問題の正答率が低い。 ●定理を活用して角度を求めることの正答率が低い。	・授業で行った問題の中で、時間があまり経っていない定理を使う問題は正答率が高く、時間が経つと理解が不十分になって正答率が低くなる。そこで、短いスパンで定理の復習をして知識を身に付けさせたい。 ・コンパス、定規を使い、正確に作図する時間を確保する。
関数	●宇都宮市と比較し、3. 2ポイント下回っている。 ○比例の式を求めることの正答率が高い。 ●文章問題を読み取り、問題文の中の2つの数量関係をグラフから選ぶ問題の正答率が低い。	・関数において、表・式・図・グラフを活用し、2つの数量関係を把握できるようにさせる。それらを利用して様々な問題を解決していき、関数能力の定着を図っていく。
資料の活用	●宇都宮市と比較し、3. 1ポイント下回っている。 ○確率を求める正答率が高い。 ●度数分布表を読み取り、階級の相対度数を求めることの正答率が低い。	・資料から度数分布表を作成したり、作った度数分布表を利用する問題の演習に力を入れて、技能の定着を図る。 ・図書室の利用者数など日常の数量を利用して、資料の整理を行うなどの問題を取り入れていきたい。それによって、資料の整理の仕方を身に付けさせたい。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	59.9	63.0	57.9
	生命・地球	70.3	70.2	65.2
観点別	科学的な思考・表現	60.5	63.5	57.5
	観察・実験の技能	61.9	64.3	61.5
	自然事象についての知識・理解	67.9	68.6	64.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

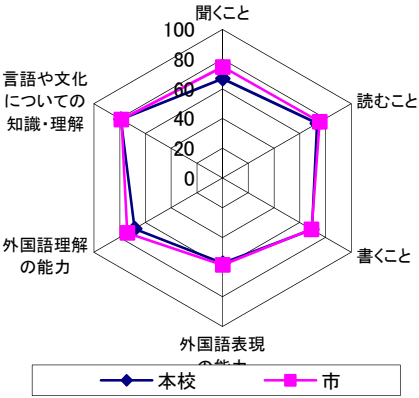
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○音・電気の単元については、どの問題も全国の平均を上回っている。 ●化学変化や身の回りの物質と性質、台車を使った実験等については、基本的な問題はできるものの、少し発展的な問題になると回答率が落ちる。	平均を上回っているものについては、現在の指導を継続するとともに、さらに多くの生徒が理解できるよう演示や視覚教材等を取り入れながら授業に取り組むよう努める。 また、平均を下回っているものが物理・化学分野に多かったので、実験等丁寧に、またわかりやすく進めるほか、結果と考察のつながりがわかるような指導に努める。
生命・地球	○植物や生物、天気については、おおよそ全国の平均を上回っている。 ●鉱物・動物の分類・減数分裂については、全国の平均をやや下回っている。	植物や生物、天気については、生徒の興味・関心も高いので、現在のように観察を多く取り入れた授業展開を継続する。 鉱物や動物の分類、減数分裂については、観察のあと、丁寧に繰り返しまとめを行う。また、反復して学習する癖をつけるよう指導にあたる。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	66.9	74.8	66.0
	読むこと	73.5	75.5	66.9
	書くこと	69.3	69.1	64.8
観点別	外国語表現の能力	57.4	58.5	53.9
	外国語理解の能力	68.4	74.1	65.7
	言語や文化についての知識・理解	79.1	78.8	71.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	- 市と比較した場合、約8%も下回っている。 ●特に絵を見ながら英文を聞いて設問に答えたり、対話文の応答文を選ぶ問題では、正答率が低くなっている。全体的に英文の要点を聞き取る力が弱い。	・さらに様々な英語を聞かせ、英文や対話文の内容を的確に把握し、適切な答えや応答ができるように練習を重ねていく。 ・ALTにスクリプトを吹き込んでもらいそれを聞かせたり、自然な会話のやり取りで会話のスピードに慣れさせたりして、リスニングの力をつけさせたい。
読むこと	- 市と比較した場合、約2%下回っている。 ○さまざまな英文を読み取る力はある。 ●長文を読み取る力が弱い。	・比較的やさしい新聞記事やいろいろな長文を取り入れて読解力をつけさせたい。 ・長文では、文章全体とともに細部を理解することが大切なので、日ごろから文章を読むことに慣れさせておく。 ・意味や内容を理解し、その内容が表現されるように、黙読や音読の練習を繰り返し行わせる。
書くこと	- 市と比較した場合、平均値はほぼ同じである。 ○単語を並べ替える英作文は比較的正答率が高い。 ●場に応じて英作文することは正答率が低い	・書く力をつけさせるために、単語テストやレッスンごとの基本文のテストを定期的に行うことによって、基礎・基本の定着を図る。 ・英作文の時間を増やして、自分の立場でいろいろなことが表現できる力を身につけさせたい。そのためにまず教科書に出てくる表現を覚えさせ、「まねる」ことから始め、少しずつ長く表現できるようにさせたい。